

広報青少年版

145号

なってみたい

あこがれの

ポジション

この夏開催された FIFA ワールドカップ2026では、多くの選手が活躍し世界中を熱く盛り上げました。サッカーは、それぞれのポジションで役割を果たすことで、チームの力が最大限に発揮されます。そこで今回は、学校生活や部活動の中で、なってみたい憧れのポジションや役割について書いてもらいました。なお、掲載できなかった記者の記事は、市ホームページに掲載しています。

自分がなってみたいポジション



村上小 仲村 彩

私のあこがれのポジションは、「緑の下力持ち」です。6年生をおくる会では、私は裏方として会場のかざりつけを担当しました。ステージに立つことはありませんでしたが、みんなが楽しい気持ちで参加できるよう、一つ一つ丁寧にきざりを作りました。当日、会場がきれいにきざられ、みんなが喜んでいて様子を見て、「目立たない仕事でも、だれかの役に立ち、みんなを支えることができるんだ」と気付きました。だから私は周りの人のために行動できる「緑の下力持ち」になりたいです。

聞く役割



八千代台小 白井 薫

私は5年生の時に初めて学級委員をやって、自分の言いたいことがちゃんと伝わっているか不安になりました。下を向いていたり、聞いている感じがしなかったりしたからです。その中で、目が合う人や、うなずいてくれる人がいてすごく安心して話すことができ、助けられました。学級委員をやったから気付けたと思います。それから、私も同じように人の話をうなずいて聞くようにしています。話をきちんと聞くということは、あまり目立たないことだけど、一人一人がその人の話を聞くという役割はとても大切だと思いました。そういう人が増えていくといいと思います。

東小を元気に！



八千代台東小 田川 正樹

ぼくのなりたい役割は、みんなのことを助ける役割です。なぜその役割になりたいかというと、ぼくが1年生の時、悲しいことがあり泣いていると、ある5年生がなぐさめてくれたことがあったからです。何があったか話を聞いてくれて、どう解決するかを一緒に考えてくれました。その上、一緒についてきてくれて、仲直りすることを助けてくれました。その5年生をカッコいいなあと思ったから、ぼくもその5年生のようにみんなを助ける役割になりたいです。

尊敬されるリーダー



八千代台西小 山本 莉子

私は委員長となかよしグループのリーダーをやってます。まだ2か月ですが、リーダーをやる中で得るものがたくさんありました。その中でも特に企画を進行

する時の緊張感や責任感、そして大変さを強く感じています。6月と11月には毎週金曜日になかよしグループの活動があります。スムーズに会を進めることや時間内に終わらせることを意識し、尊敬されるリーダーになりたいです。そして、6年生みんなで支え合い、素敵な委員会となかよしグループを作っていきたいです。

私のあこがれは私の将来のゆめ



西高津小 磯野 早那

私のあこがれのポジションは「先生」です。私が今までで会ってきた先生は、私たち一人一人のことをよく見てくれて、気持ちに寄り添ってくれたり、笑顔で教室を盛り上げてくれたりして、尊敬できるところがたくさんあります。そして、私の将来の夢は小学校の先生です。クラスにはいろいろな人がいます。私が出会ってきた先生たちのように、周りの友達の良いところを見つけられるように、そして、周りが友達から自分の良いところを見つけてもらえるように毎日努力していきたいです。

そっとよりそえる、あこがれの人



高津小 間野 紗奈

私には、あこがれの人があります。その人は、周りのことがよく見えている友達です。その友達は、一人ぼっちになっている子を見つけると、すぐに話しかけて、その子を笑顔にします。誰にでも優しく、その場をパッと明るくできるパワーがあります。そんなパワーをもっている友達を見て、「私も周りを見られる人になろう。困っている友達を助けられる人になろう。思いを上手に伝えられない人に寄り添って考えられる人になれたらいいな」と思っています。周りを見られる人になって、誰もが自分を出し合えるクラスづくりの一端を担いたいです。

理想のポジション



南高津小 長谷川 綺音

私が学校生活にあったら良いと思うポジションは、「見えないところでみんなに気を配れるポジション」です。例えば、本棚が乱れているのに気付いたら直すなどです。陰で努力している姿は、必ず誰かが見てくれていると私は思います。そして、見ていた人が気付いたことがあったらやって、どんどん良いことがつながると思います。最終的には、全員が思いやりをもって、みんなで気を配れるようになるのがこのポジションのゴールです。この目標に向けて、私自身も少しずつ、日々の生活の中でこの役割にチャレンジしていきたいです。

学校の司令塔



大和田西小 金子 楓依

ぼくの学校で大切だと思った役割は、ミッドフィルダーです。以前、話し合いが進まない時に友達が「何か意見ある」と声をかけて場を動かしてくれました。そのカッコいい姿を学校行事や縦割り活動で実践したいです。仲良し交流や委員会活動の場で下級生に視線を合わせて優しく声をかけたいです。また、友達の間にあってコミュニケーションをスムーズにする、「温かいパス」を出していきたいです。学年のかべをなくす司令塔となって、みんなが笑顔で居ごちのよい学校を作りたいです。



自分らしさというポジション



新木戸小 立花 優依

私のあこがれのポジションは、「周りに流されず、自分の好きを大切にする人」です。世の中には「男子だからこう」「女子だからこう」という考え方が今でもあると思います。私も周りの目を気にして、本当は好きなのに言えなかったことがあります。でも、男子だけとお絵かきやかわいい物が好きだと、かくさずに話し、自分の好きを大切にしている友達を見て、はっとしました。私は自分でも気付かないうちに、そのような考え方にとらわれていたのだと気付いたからです。私もそんなポジションにつけるように、自分の気持ちを大切にしていきたいです。

特技を生かして人を笑顔に



萱田南小 須藤 加菜

私のなりたい憧れのポジションは、自分の得意なことを生かして人を笑顔にできる人です。自分の才能を生かせば自分も成長できるし、それで人を笑顔にできたなら両方に良いことがあり一石二鳥で、さらにそれを自然にできる人はすごいと思うし憧れます。自分の特技を自分だけでなく人のためにも使えるということはとても大切で必要な役割だと思います。私は人の良いところを見つけることが得意なので、その良いところをどんどん言って、周りの人の笑顔をふやしていきたいです。